



# キャンプ砂防 2024 参加者募集

## 土砂災害 にふれる

過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない最先端の現場作業などを体験します。



## 山の鼓動 を感じる

崩壊地を歩き、植生を知り、川の流を感じ、自然と人々との関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、災害体験等を通じて土砂災害の危険性を学びます。



## まちづくり を考える

地域の方々の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこしについて考えます。



## モノを作る

農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地の現状を学びます。



### キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然状況下にあります。さらに、近年中山間地では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方でこのような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されており、現在までに2,200名を超える学生の方々に参加していただいております。

◆キャンプ砂防運営委員会／【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課  
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8111

参加者への支援金制度もあるキャンプ砂防の詳細はこちら  
<https://www.campsabo.jp/2024/>

ご興味のある学生の方は

までご連絡ください。



### ～参加者の声～

これまで大学の授業や実習では砂防についての知識を得ることはできても、規模感を感じたり、砂防に携わる人々と関わることができないため、砂防を仕事にしていることをイメージできませんでした。キャンプ砂防では実際の現場を見て、そこで働く人から現場ごとの説明を受けることができ、砂防事業とは何か、砂防分野で働いたらこのようなことをするんだ、という事を知れました。

茨城県 大学3年 男性

砂防以外にも、行政や民間企業の仕事の様子や連携を、現場見学、会議見学、担当の方からの話・質疑応答を通して学ぶことができよかったです。砂防に関する知識がなくても学ぶことが多かった。学年が異なる方々との交流から、他大学のこと、就活に関する情報交換をすることができた。また、年上の方からは社会人としての振る舞い、今後の学習の指針、パワポの技術、将来設計のヒントとなるようなことを沢山教えていただいた。

三重県 大学2年 女性

キャンプ砂防で一番学んだことは、実際に現地に行くことの大切さです。大学の講義では、話を聞いたり写真で見ることができなかったり、実際に砂防堰堤のイメージを持つことが難しく感じていました。今回参加してみて、沢山の土砂災害の現場を見ることができ、機械に触らせてもらったり、自分の就きたい仕事を考える上での大きな経験にもなりました。本当に参加してよかったです。

青森県 大学3年 女性